

第9期川崎市スポーツ推進審議会 第1回会議 摘録

日 時：令和8年5月22日（金） 18：30～20：00

場 所：川崎市役所 本庁舎1階101会議室

出席者：齋藤実（会長）、菊地正（副会長）、飯田路佳（委員）、松澤淳子（委員）、増山雅久（委員）、山川佳美（委員）、外山研一（委員）、丹野典和（委員）、室谷龍子（委員）、北野隆生（委員）、渡部修治（委員）、櫻井雅利（委員）、須田朱未（委員）、田中美恵子（委員）（敬称略）

欠席者：なし

事務局：市民文化局市民スポーツ室

藤井室長、荻田担当課長、磯崎担当課長、白石担当課長、山本担当課長、末繁担当課長、藤原担当係長

議事説明員：教育委員会事務局健康教育課 廣瀬課長

傍聴者：なし

会議次第

1 開会

2 議事

- (1) 会長・副会長の選出
- (2) 第8期までの審議内容について
- (3) 令和9年度スポーツ事業計画について
- (4) その他

3 閉会

藤原係長	<p>(委嘱状交付)</p> <p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから第9期川崎市スポーツ推進審議会第1回会議を開催いたします。本日の審議会でございますが、委員の過半数の13名が出席しておりますので、「川崎市スポーツ推進審議会条例施行規則」の第4条第2項の規定により、審議会の開催要件は満たしていることを御報告申し上げます。</p> <p>また、会議録につきましては、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」第5条の規定に基づいて作成することとされております。</p> <p>本審議会の会議録につきましては、発言者の名前を記載した形で、また、要約方式にて作成することとし、事務局にて案を作成したのちに、委員全員の御確認をいただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><異議なし></p>
藤井室長	<p>川崎市より御挨拶を申し上げます。</p> <p>市民スポーツ室藤井室長、よろしく申し上げます。</p> <p>市民スポーツ室室長の藤井でございます。(自己紹介は省略)</p> <p>第9期スポーツ審議会では計画策定など大きな内容も予定しているところでございます。委員の皆様におかれましては、川崎市における今後のスポーツ行政などにつきまして、ぜひ忌憚のない御意見をいただきますようお願いいたします。</p>
藤原係長	<p>2 事務局紹介</p> <p>まず、今年度の事務局及び議事説明員を紹介いたします。</p> <p>お手元の名簿も併せて御参照ください。</p> <p>事務局：市民スポーツ室 ※名前の読上げ⇒立ち上がり礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ室長 藤井 (フジイ) ・企画調整担当課長 荻田 (ヒギタ) ・スポーツのまちづくり担当課長 磯崎 (イサギ) ・スポーツ事業推進担当課長 白石 (シライシ)

各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若者文化推進担当課長 山本（ヤマト） ・新アリーナ整備担当課長 末繁（スエシゲ） ・企画調整担当係長 藤原（フジワラ）、職員 菊池（キチ） <p>議事説明員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局学校教育部健康教育課 担当課長 廣瀬（ヒロセ） <p>3 委員紹介（自己紹介）</p>
藤原係長	<p>（１）会長・副会長の選出について</p> <p>それでは、審議会の議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>次第に従いまして、議事（１）「会長・副会長の選出」でございます。</p> <p>本来であれば、審議会の議事の進行につきましては、審議会の会長にお願いするところでございますが、「会長・副会長の選出」につきましては、引き続き事務局にて進行させていただきます。それでは、荻田課長お願いいたします。</p>
荻田課長	<p>参考資料に基づき説明</p> <p>これを踏まえまして、会長及び副会長の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>委員の皆さまの互選ということでございますが、いかがでしょうか。</p>
丹野委員	<p>スポーツ協会の丹野です。今回の第9期の審議会では、前期で計画延長しました次期スポーツ推進計画の策定という重大な議事があるとのことですので、現在の計画の策定から会長を務められている齋藤教授に引き続き会長をお願いし、副会長を菊地委員にお願いするのは、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
荻田課長	<p>委員の皆様からは異議なしとのことでございますが、齋藤委員、菊地委員、お引き受けいただけますでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>承知しました。</p>
菊地委員	<p>承知しました。</p>
荻田課長	<p>それでは、皆様の御承認をいただきましたので、会長には齋藤委員、副会長には菊地委員に御就任いただきたいと思います。</p> <p>それでは、会長・副会長の御就任にあたり、一言ずつ御挨拶をいただきたいと思います。</p>

<p>齋藤会長</p> <p>荻田課長</p> <p>菊地副会長</p> <p>荻田課長</p> <p>齋藤会長</p>	<p>はじめに、会長に御就任いただきました齋藤委員、お願いいたします。</p> <p>齋藤会長あいさつ</p> <p>ありがとうございます。それでは、副会長に御就任いただきました菊地委員、お願いいたします。</p> <p>菊地副会長あいさつ</p> <p>ありがとうございます。それでは、以後の議事進行につきましては会長にお願いしたいと存じます。</p> <p>齋藤会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ここからは私が進行させていただきます。よろしく申し上げます。</p>
<p>齋藤会長</p> <p>荻田課長</p> <p>齋藤会長</p> <p>櫻井委員</p>	<p>(2) 第8期までの審議内容について</p> <p>議事(2)「第8期までの審議内容について」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料1に基づき説明</p> <p>本件は報告事項ということでございますが、ただいま事務局から説明があった内容につきまして、委員の皆様から御質問などございましたら、お願いします。スポーツ基本法が改正され、その内容を踏まえた国の第4期スポーツ基本計画の改正の予定がされています。その4期計画が出てからでないと、その前の計画を参酌するようになる懸念があったため、計画期間を延長したものです。</p> <p>各施策に対して事業実施し、その後の評価も実施されていると思います。そういった評価のものさしについては、スポーツ基本法の改正に伴い評価のものさしは変えないのか。それとも、改正した規定に伴い変えるのか。変えた場合は、第8期の評価と今後の評価の比較はどのように行うのでしょうか。</p> <p>定量的な評価は難しく、定性的な評価になりがちで決まったものがないので、自分たちで物差しを決めて評価する手法と思います。従来どおり継続すれば容易であるが、スポーツ基本法の改正に伴ってものさしを変えてしまうと、評価の比較が難しくなると思うので、その当たりの考え方はいかがでしょうか。</p>

藤井室長	<p>スポーツ基本法の改正も本質は大きな変更がないと考えています。そのため、これまでの経年で追っていくべき設問は継続すると同時に、法改正で提示された新たな視点や切り口につきましては、新規で設問設定をしてみたいといった、二階層で捉えて進めるようなイメージを持っています。</p>
丹野委員	<p>次の議題の国の第3期スポーツ推進計画にて説明があるかも知れないが、スポーツ基本法の改正、国の基本計画の改定と記載があります。スポーツ基本法については昨年9月に改正されておりますが、国の基本計画改定の予定はどのようなになっているのでしょうか。</p>
荻田課長	<p>国の基本計画改正は骨子案が示されておりますが、具体的な計画の内容までは示されていない状況です。</p>
丹野委員	<p>そうすると国の第4期スポーツ基本計画の案が示されてから、市の第3期スポーツ推進計画の策定に取り掛かるようになるのでしょうか。それとも骨子の段階から検討を進めていくのでしょうか。</p>
藤井室長	<p>国の第4期スポーツ基本計画の策定の基本的な考え方が示されており、国も議論の経過についても段階的に示していくと思いますし、国のスポーツ基本法改正自体は既に施行しているため、計画の内容もそれに即するものと予測しながら同時並行で進めていくようになると思います。今後そうした動き等についても適宜適切に提供いたしますので、御審議の程、よろしく願いいたします。</p>
齋藤会長	<p>ありがとうございます。それでは、他に御意見、御質問がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p>
齋藤会長	<p>(3) 令和8年度スポーツ事業計画 続いて、議事(3)「令和8年度スポーツ事業計画」でございます。 まずは、事務局及び議事説明員から説明をお願いいたします。</p>
荻田課長	<p>資料2に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ、地域スポーツ [P.1～P.2] ・各区役所が所管するスポーツ事業 [P.1～P.2] ・川崎のスポーツ年間スケジュール
磯崎課長	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのまちづくり [P.2]
白石課長	<ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ、障害者スポーツ [P.3～P.4]
山本課長	<ul style="list-style-type: none"> ・若者文化 [P.4]

廣瀬課長	・学校体育 [P. 9～P. 12]
齋藤会長	ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御意見・御質問等ありますでしょうか。
渡部委員	新アリーナ整備担当について事業計画の説明がなかったが、どのような状況でしょうか。
末繁課長	現在は、等々力緑地の再編整備事業のうちの、「とどろきアリーナ」の整備を担当しています。新たなとどろきアリーナの整備に向けて、実施設計の段階にあり、詳細の内容について精査をしているところです。今後は、進捗が出てきましたら、審議会に情報共有をするので御意見をいただきたいと考えています。
渡部委員	承知しました。今のところ事業の進捗は順調ということでしょうか。
末繁課長	今のところは、予定どおりとなっています。
渡部委員	学校体育の関係について、昨年度の審議会の中で民間の指導者を探すのに苦慮されているとありましたが、その後はいかがでしょうか。
廣瀬課長	学校における民間の指導者の件については、全ての所掌を把握しているものではないですが、やはり担い手不足というところはありますが、部活動の地域展開に関しては、民間指導者にも御協力をいただく方向性でおります。また、私が所管している、学校における水泳授業については、80校は地域の民間プール等で授業を実施、残り35校は学校に民間の指導者に来てもらう予定となっており、水泳協会等に御協力をいただきながら、良い人材を探しているところです。
渡部委員	水泳以外で民間の指導者を導入されている例はありますか。
廣瀬課長	中学校の部活動では既に民間の指導者に御協力いただいております。
山川委員	小学校においては、スポーツパートナーの方に来ていただいております。小学1年生から6年生まで希望をした際にスポーツパートナーの方に来ていただける体制ができてきています。パラスポーツのボッチャ、車いすバスケットなどを指導いただいております。他にも、ジャンプロープの指導者の方に来ていた

	<p>だいています。ジャンプロープの場合は、子ども達は「跳ぶ」というよりも「跳ばせてもらっている」といった感じではありましたが、幅広くスポーツに親しむという意味で色々な指導者の方々に来ていただいていると認識しております。</p>
渡部委員	<p>先程の自己紹介で櫻井委員は、地域で野球を指導されているとのことでしたが、野球はいかがでしょうか。</p>
櫻井委員	<p>野球は地域の指導者が担っている状況です。私が指導している幸区内は、40～50年前は50チームあったが、今は15チームです。現在は、少子化に加え、バスケやサッカーなどスポーツコンテンツが広がっているため、チーム数は少なくなっていますが、地域の指導者がボランティアとして活動しており、継続できているところです。</p>
齋藤会長	<p>ありがとうございます。これからそういった部活動の地域展開でも、地域の方や学生なども含めて指導者として、検討していくようになると思います。</p> <p>それでは、他に御意見、御質問がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p>
	<p>(4) 第3期スポーツ推進計画の策定について</p>
齋藤会長	<p>続いて、議事(4)「その他」について、事務局から情報提供がございます。次期スポーツ推進計画の策定に向けて、市民アンケートを実施するため、</p>
荻田課長	<p>資料3に基づき説明</p>
齋藤会長	<p>ただいまの情報提供について、御意見・御質問等ありますでしょうか。</p>
渡部委員	<p>令和2年度のアンケートの回収率が良かった理由はあるのでしょうか。</p>
荻田課長	<p>正式に分析をしているものではないが、令和2年度はコロナ禍にあり、家にいる方が多かったこと、さらに、家にいる時間が多いことから、身体を動かすことへの意識が高かったことが考えられると思います。</p>
松澤委員	<p>アンケートの回収率はとても大切で、最低でも3割は必要だと考えます。アンケートの設問内容はメリハリを付けて、成果指標や施策を結びつける設問にしていけると良いですが、設問数が多いと回収率が下がるので、極力、設問数は減らしていけたらと考えています。</p>

齋藤会長	令和2年にアンケートを実施したコロナ禍の頃は、運動に対する意識が高かった。また、前回のアンケート実施の回答は紙の回答とweb回答とでハイブリッドにしました。回答の仕方重大だと考えます。
渡部委員	質問内容はどのようにするのでしょうか。紙なのか、それとも二次元コードを活用するのでしょうか。
渡部委員	市民アンケートという、紙で郵送して、紙で回答を返送してもらうイメージがあるが、会長の発言のとおり、二次元コードから入るとアンケートが見えるようになって、また回答ができるようになるのでしょうか。
荻田課長	アンケートの送付は無作為抽出で選ばれた方に郵送で発送します。回答は郵送による返信とwebによる回答との選択ができるようにする予定です。
渡部委員	<p>回答は二次元コードでも回答できるので、紙で回答するばかりではないことは分かりました。</p> <p>設問内容は松澤委員にも相談にのってもらおうとのことですが、審議会ではアンケートの設問についても、審議するのでしょうか。</p>
荻田課長	<p>今後は、市の施策の進捗の変化等も踏まえた上で、事務局の方でアンケートの設問案を絞ってから、松澤委員にも相談しながらブラッシュアップをしていく予定です。ある程度、アンケートの設問案がまとまった後に、各委員にはメールでお送りするので、御意見をいただきたいと考えています。</p>
齋藤会長	これまで、アンケートは同じ設問を比較していたと思いますが、まずは、事務局の方で作成した設問案をお示しいただいて、御意見をいただく流れになっています。
渡部委員	承知しました。
櫻井委員	<p>アンケートの回収率向上や郵送費の削減の観点から考えると、新聞広告などでアンケートの募集の掲載をして、二次元コードやLINEなどを使用してスマートフォンから簡単にアンケートを回答できるようにすれば、郵送費の削減にもつながると思います。設問を重要なものから開始し、設問の回答に応じて、コンビニ商品を割引するとか、回答インセンティブを付与すれば、アンケートの回収率も上がるのではないのでしょうか。その財源は郵送費削減分を充当します。</p>

<p>荻田課長</p> <p>松澤委員</p> <p>齋藤会長</p>	<p>良いアイデアをいただきありがとうございます。私自身もこういった内容ならアンケートに回答したいという気持ちになると思いました。行政によるアンケートでは、web アンケートと無作為抽出によるアンケートの両方方法がありますが、web アンケートの場合は回答する方にある程度の情報リテラシーが求められます。今回は行政計画策定に向けた市民アンケートなので、スマートフォンを使いこなせない方も含めて幅広い市民の方を対象としてアンケートを実施したいと考えています。</p> <p>行政計画策定の場合は、幅広く市民の方の意見を聴くといった視点から無作為抽出による実施をしています。しかし、インセンティブを与えて回収率を上げることは、すごく良いアイデアだと思いました。</p> <p>これから、アンケートの検討を始めて、委員の皆さんにも御意見をいただくようになりますので、よろしく願いいたします。それでは予定されていた議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>藤原係長</p>	<p>4 閉会</p> <p>齋藤会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局から次回の審議会の開催について御連絡いたします。</p> <p>このスポーツ推進審議会につきまして、今後の開催については、次回の第2回を11月中旬頃、第3回を年明けの3月末に予定しております。また改めて、事務局から委員の皆様へ御連絡の上、2回分をまとめて調整させていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で、本日の予定されていた事項は全て終了いたしました。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。</p>